

付 録

以上に掲載した論文は、社会保障研究所が独自に作成したデータ・ファイルを利用している。以下、このデータ・ファイルについて簡単な説明をしておく。

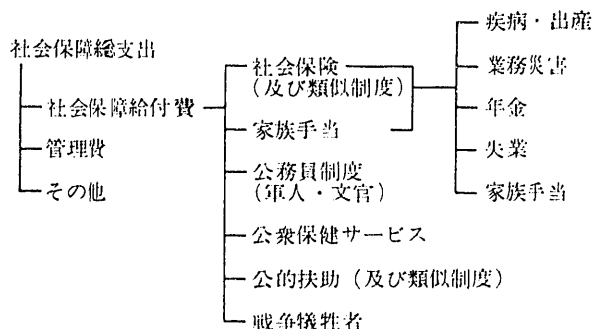
I データ・ソース

このデータ・ファイルでは、以下の統計書からデータを得ている。

(1) ILO, *Cost of Social Security*

- ① ILO が、1949年以降各年の各国の社会保障の費用に関するデータを、国際比較が可能になるよう統一的な基準を設定して、収集・整理し、公刊したものである。最も最近に刊行されたのは、1978—80年版(1985年刊)である。今回の報告では、主としてこの78—80年版と75—77年版に掲載されているデータ(60年・65年・70年・75—80年)を利用している。
- ② この統計書には、社会保障の費用の総額のほか、社会保障費用の対 GDP・GNP 比、社会保障費用の制度別および部門(事故)別構成比、社会保障収入の財源別構成比などのデータが含まれている。なお、社会保障費用の総額としては、「社会保障給付費」と「社会保障総支出」が区別されており、

$$\text{社会保障総支出} = \text{社会保障給付費} + \text{管理費 (administrative cost)} + \text{他の支出}$$
 という関係になっている。
- ③ この統計における社会保障の定義は、以下の条件を満たす制度として定義されている。
 - (i) 制度の目的が治療的または予防的医療を提供するもの、または稼働の非自発的喪失の際に所得維持策を行うもの、または扶養家族に対して補足的給付を行うもの。
 - (ii) 制度が法律によって定められ、それによって特定の個人に権利が付与され、あるいは公的、準公的、もしくは独立の機関に特定の責任が課されるものであること。
 - (iii) 制度が公的、準公的、もしくは独立の機関によって管理されるものであること。
 ただし、業務災害の補償責任が直接事業主に課せられる場合には、業務災害補償制度は(iii)を満たさなくても社会保障に含められる。
- ④ この統計では制度および部門の分類は以下のようになっている。



- ⑤ ソ連・東欧圏の社会主義諸国は、SNA とは異なった国民経済計算のシステム (MPS) を採用しており、ILO 統計においても対 GDP 比に代えて対 NMP (Net Material Product) 比が掲載されている。これらの国は社会保障給付費に関する分析の場合には除外して分析を行っている。
- ⑥ 1978—80年版では、社会保障の定義・範囲に変更があった。それは、公衆保健サービスの下で提供される医療ケアが社会保障の範囲から除外されたことである。ただし、イギリス・イタリアの国営保健サービスのように、全人口をカバーする社会保障制度の下で法的な権利として提供される医療サービスは、除外されなかった。国営保健サービスにあたるものは、75—77年版までは制度別の分類としては「公衆保健サービス」に分類されていたが、78—80年版では「社会保険(および類似制度)」に分類されることになった。

(2) U.S. Department of Health and Human Services, *Social Security Programs throughout the World*, 1983.

- ① 1937年以降定期的に刊行され、社会保障の各制度部門ごとに、各国の制度の適用範囲、財源、資格要件、給付水準および管理機構の概略が解説され、また、最初の法律の制定年次が示されている。ここでは、5つの制度部門ごとの最初の法律の制定年次のデータを利用している。
- ② どの法律をもって最初の法律とみなすかの基準は以下の通りとされている。すなわち、その法律によって導入された制度が、特定の職業集団(例えば、船員・鉱夫・銀行員など)のみを対象とするのではなく、産業全体または全国にわたる規模のものであって、被用者のうち相当な部分を対象として特定のリスクに対する保護を行うものであり、かつ強制加入の制度であることとされている。同書では、この基準では法律が存在していないとみなされた国についても現行の制度についての若干の説明が付されて

いる場合もあるが、ここでは、それらの国については制度が存在しないものとして扱った。

- ③ 最初の法律が制定された年次として、原資料に複数の年次が示されている場合には、原則として早い年次の方をとったが、上記の基準からみてそれが不適当と思われる場合には、基準にてらして最も適切と思われるものを選んだ。

(3) World Bank, *World Tables*, 3rd ed.

本書は、世界銀行が編集した国際統計集で、1976年、1980年に引き続き1983年に第3版として刊行されたものである (The Johns Hopkins University Press 刊)。

収録されている統計データの多くは、元来国連および各種国際機関 (WHO, ILO 等) が作成したものであるが、国際比較および時系列比較が可能になるように世界銀行によって加工されている場合もある。そして、世界銀行のデータ・ファイルによってそれを補完している。

データは原則として暦年であるが、一部会計年度のものも含まれる。6月30日以降は会計年度が終わる場合は、その会計年度のデータは、その暦年にあてはめる。

(4) 衛藤藩吉ほか『戦後世界データハンドブック』世界経済情報サービス。本書のうちの「政治体制指標」 (Indices of Political System) およびジニ係数、低い所得層40%のシェアを採用してある。

この「政治体制指標」は、「資本主義的性格」「マルク

ス・レーニン社会主義的性格」「非マルクス・レーニン社会主義的性格」「非独裁的傾向」「議会制」の5分野 (次元) の16指標からなっている。いずれの指標においても、各国は1点・2点・3点のいずれかの値を与えられている。この得点は、日本の政治学者グループが、各国の憲法、法令などの資料、および政党議席数、開発計画、土地改革、協同組合化、国有化などの問題別資料を用いて行った総合的な評価判定によるものである。

(5) Taylor and Jodice, *World Handbook of Political and Social Indicators*, 3rd ed., Yale Univ. Press.

本書からは、政治的権利指標、市民的権利指標、労働組合組織率を採用してある。

以上のほかに、以下の統計書も利用した。

U. N., *National Accounts Statistics*.

UNESCO, *Statistical Yearbook* 1975 ed., 1982 ed., 1983 ed.

U. N., *Compendium of Housing Statistics*, 1st & 3rd ed.

U. N., *Demographic Yearbook*, 1980 ed., 1981 ed., 1982 ed.

ILO, *The Yearbook of Labour Statistics*, 1975 ed., 1983 ed.

II 収録変数

データ・ファイルに収録されている変数は以下のとおりである。

《MED 60~MED 77》	〔社会保障給付費・医療〕
《KIND 65~KIND 77》	〔社会保障給付費・医療以外の現物給付〕
《CASH 60~CASH 77》	〔社会保障給付費・現金給付〕
《SSB 75~SSB 77》	〔社会保障給付費〕
《SSE 75~SSE 77》	〔社会保障総支出〕
《SSEPER 60~SSEPER 77》	〔社会保障総支出対 GDP 比〕
《SSBPER 60~SSBPER 77》	〔社会保障給付費対 GDP 比〕
《INDEX 60~INDEX 77》	〔1人当たり社会保障給付費指数 (実質)〕
《INSU 60~INSU 77》	〔社会保障給付費・社会保険等の比率〕
《FAMILY 60~FAMILY 77》	〔社会保障給付費・家族手当の比率〕
《PUBSER 60~PUBSER 77》	〔社会保障給付費・公務員制度の比率〕
《HEALTH 60~HEALTH 77》	〔社会保障給付費・公衆衛生サービス比率〕
《PUBASS 60~PUBASS 77》	〔社会保障給付費・公的扶助の比率〕
《INCINS 60~INCINS 77》	〔社会保障収入・被保険者拠出の比率〕
《INCEMP 60~INCEMP 77》	〔社会保障収入・事業主拠出の比率〕
《INCTAX 60~INCTAX 77》	〔社会保障収入・特別税の比率〕
《INCSTA 60~INCSTA 77》	〔社会保障収入・国庫負担の比率〕
《INCPUB 60~INCPUB 77》	〔社会保障収入・公的負担の比率〕
《INCCAP 60~INCCAP 77》	〔社会保障収入・資産収入の比率〕
《EXPSIC 60~EXPSIC 77》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・疾病出産の割合〕
《EXPIND 60~EXPIND 77》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・労災の割合〕
《EXPPEN 60~EXPPEN 77》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・年金の割合〕
《EXPUNE 60~EXPUNE 77》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・失業の割合〕

《EXPFAM 60~EXPFAM 77》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・家族手当の割合〕
《SSB 72~SSB 74》	〔社会保障給付費〕
《SSE 72~SSE 74》	〔社会保障総支出〕
《SSEGDP 72~SSEGDP 74》	〔社会保障総支出対 GDP 比〕
《SSBGDP 72~SSBGDP 74》	〔社会保障給付費対 GDP 比〕
《SSB 67~SSB 71》	〔社会保障給付費〕
《SSE 67~SSE 71》	〔社会保障総支出〕
《SSEGDP 67~SSEGDP 71》	〔社会保障総支出対 GDP 比〕
《SSBGDP 67~SSBGDP 71》	〔社会保障給付費対 GDP 比〕
《SSE 64~SSE 66》	〔社会保障総支出〕
《SSB 64~SSB 66》	〔社会保障給付費〕
《SSEGNP 64~SSEGNP 66》	〔社会保障総支出対 GNP 比〕
《SSBGNP 64~SSBGNP 66》	〔社会保障給付費対 GNP 比〕
《SSE 61~SSE 63》	〔社会保障総支出〕
《SSB 61~SSB 63》	〔社会保障給付費〕
《SSEGNP 61~SSEGNP 63》	〔社会保障総支出対 GNP 比〕
《SSBGNP 61~SSBGNP 63》	〔社会保障給付費対 GNP 比〕
《SSE 58~SSE 60》	〔社会保障総支出〕
《SSB 58~SSB 60》	〔社会保障給付費〕
《SSEGNP 58~SSEGNP 60》	〔社会保障総支出対 GNP 比〕
《SSBGNP 58~SSBGNP 60》	〔社会保障給付費対 GNP 比〕
《SSE 49~SSE 57》	〔社会保障総支出〕
《SSB 49~SSB 57》	〔社会保障給付費〕
《SSEGNP 49~SSEGNP 57》	〔社会保障総支出対国民所得比〕
《SSBGNP 49~SSBGNP 57》	〔社会保障給付費対 GNP 比〕
《GDP 65~GDP 80》	〔名目 GDP (各国通貨)〕
《GDPREA 65~GDPREA 80》	〔実質 GDP (各国通貨)〕
《CPI 65~CPI 80》	〔消費者物価指数〕
《RATE 65~RATE 80》	〔対ドル為替レート〕
《TOTEX 70~TOTEX 80》	〔中央政府総支出〕
《DEFEXP 70~DEFEXP 80》	〔中央政府防衛支出〕
《EDUEXP 70~EDUEXP 80》	〔中央政府教育支出〕
《HEAEXP 70~HEAEXP 80》	〔中央政府保健支出〕
《SOCEXP 70~SOCEXP 80》	〔中央政府社会保障・社会福祉支出〕
《HOUEXP 70~HOUEXP 80》	〔中央政府環境支出〕
《ECOEXP 70~ECOEXP 80》	〔中央政府サービス支出〕
《ELSEXP 70~ELSEXP 80》	〔中央政府・その他〕
《POP 60~POP 80》	〔総人口〕
《AGED 65~AGED 80》	〔65歳以上人口比率〕
《URBPOP 65~URBPOP 80》	〔都市人口比率〕
《BIRTH 65~BIRTH 80》	〔普通出生率〕
《DEATH 65~DEATH 80》	〔普通死亡率〕
《LIFEEX 65~LIFEEX 80》	〔平均寿命〕
《FERTI 65~FERTI 80》	〔合計特殊出生率〕
《DOCTOR 65~DOCTOR 80》	〔医師1人当たり人口〕
《BED 65~BED 80》	〔病院ベッド当たり人口〕
《COLORI 70~COLORI 80》	〔1人当たりカロリー供給量 (対必要量比)〕
《PROTEI 70~PROTEI 80》	〔1人当たり蛋白質供給量 (グラム)〕
《INFANT 65~INFANT 80》	〔乳児死亡率〕
《CHILD 65~CHILD 80》	〔幼児死亡率〕
《PRIMT 65~PRIMT 80》	〔初等教育就学率・男女計〕
《PRIMF 65~PRIMF 80》	〔初等教育就学率・女子〕
《SECONT 65~SECONT 80》	〔中等教育就学率・男女計〕
《SECONF 65~SECONF 80》	〔中等教育就学率・女子〕
《LITERA 65~LITERA 80》	〔成人識字率〕

《WLABOR 65~WLABOR 80》	〔女子労働力率〕
《AGRI 65~AGRI 80》	〔農業労働力比率〕
《IND 65~IND 80》	〔工業労働力比率〕
《ENERGY 65~ENERGY 80》	〔1人当たりエネルギー消費量（石炭換算・キログラム）〕
《POL 6001》	〔資本主義的性格／土地所有の自由〕
《POL 6002》	〔資本主義的性格／金融株式市場の普及〕
《POL 6003》	〔資本主義的性格／私企業設立・営業の自由〕
《POL 6004》	〔資本主義的性格／資本主義政党の政治勢力〕
《POL 6005》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／土地国有化〕
《POL 6006》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／計画化（国営企業の集権化の度合い）〕
《POL 6007》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／農業集団化〕
《POL 6008》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／共産党の政治勢力〕
《POL 6009》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／企業の国有化〕
《POL 6010》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／政府の経済計画の強さ〕
《POL 6011》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／目標としての社会主義（実行の度合い）〕
《POL 6012》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／社会主義政党の政治勢力〕
《POL 6013》	〔非独裁的傾向／リーダーシップの強さ〕
《POL 6014》	〔非独裁的傾向／対立（野党）の強さ〕
《POL 6015》	〔議会制／議会制度〕
《POL 6016》	〔議会制／議会の運用〕
《POL 7001》	〔資本主義的性格／土地所有の自由〕
《POL 7002》	〔資本主義的性格／金融株式市場の普及〕
《POL 7003》	〔資本主義的性格／私企業設立・営業の自由〕
《POL 7004》	〔資本主義的性格／資本主義政党の政治勢力〕
《POL 7005》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／土地国有化〕
《POL 7006》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／計画化（国営企業の集権化の度合い）〕
《POL 7007》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／農業集団化〕
《POL 7008》	〔マルクス・レーニン社会主義的性格／共産党の政治勢力〕
《POL 7009》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／企業の国有化〕
《POL 7010》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／政府の経済計画の強さ〕
《POL 7011》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／目標としての社会主義（実行の度合い）〕
《POL 7012》	〔非マルクス・レーニン社会主義的性格／社会主義政党の政治勢力〕
《POL 7013》	〔非独裁的傾向／リーダーシップの強さ〕
《POL 7014》	〔非独裁的傾向／対立（野党）の強さ〕
《POL 7015》	〔議会制／議会制度〕
《POL 7016》	〔議会制／議会の運用〕
《GDPDOL 65~GDPDOL 80》	〔GDP ドル表示〕
《HIGHT 65・HIGHF 65 ~HIGHT 80・HIGHF 80》	〔高等教育就学率男女計・女子〕
《POLRIGHT》	〔政治的権利指標〕
《CIVRIGHT》	〔市民的権利指標〕
《UNION》	〔労働組合組織率〕
《YEARPENS》	〔老齢年金創設年〕
《YEARSICK》	〔疾病保険創設年〕
《YEARINDU》	〔労災保険創設年〕
《YEARUEMP》	〔失業保険創設年〕
《YEARFAMI》	〔家族手当創設年〕
《HSIZE 60・HSIZE 70》	〔平均世帯規模〕
《SINGLE 60・SINGLE 70》	〔单身世帯比率〕
《DIVORC 65~DIVORC 80》	〔普通離婚率〕
《UNEMP 65~UNEMP 80》	〔失業率〕
《SUICID 65~SUICID 80》	〔自殺率〕
《GINI 65~GINI 70》	〔ジニ係数〕
《LOWINC 65~LOWINC 70》	〔低い所得層40%のシェア〕
《MED 78~MED 80》	〔社会保障給付費・医療〕

《KIND 78~KIND 80》	〔社会保障給付費・医療以外の現物給付〕
《CASH 78~CASH 80》	〔社会保障給付費・現金給付〕
《SSB 78~SSB 80》	〔社会保障給付費〕
《SSE 78~SSE 80》	〔社会保障総支出〕
《SSEPER 78~SSEPER 80》	〔社会保障総支出対 GDP 比〕
《SSBPER 78~SSBPER 80》	〔社会保障給付費対 GDP 比〕
《INSU 78~INSU 80》	〔社会保障給付費・社会保険等の比率〕
《FAMILY 78~FAMILY 80》	〔社会保障給付費・家族手当の比率〕
《PUBSER 78~PUBSER 80》	〔社会保障給付費・公務員制度の比率〕
《PUBASS 78~PUBASS 80》	〔社会保障給付費・公的扶助の比率〕
《INCINS 78~INCINS 80》	〔社会保障収入・被保険者拠出の比率〕
《INCEMP 78~INCEMP 80》	〔社会保障収入・事業主拠出の比率〕
《INCTAX 78~INCTAX 80》	〔社会保障収入・特別税の比率〕
《INCSTA 78~INCSTA 80》	〔社会保障収入・国庫負担の比率〕
《INCPUB 78~INCPUB 80》	〔社会保障収入・公的負担の比率〕
《INCCAP 78~INCCAP 80》	〔社会保障収入・資産収入の比率〕
《EXPSIC 78~EXPSIC 80》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・疾病出産の割合〕
《EXPIND 78~EXPIND 80》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・労災の割合〕
《EXPPEN 78~EXPPEN 80》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・年金の割合〕
《EXPUNE 78~EXPUNE 80》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・失業の割合〕
《EXPFAM 78~EXPFAM 80》	〔社会保険・家族手当給付費部門別比率・家族手当の割合〕